



三重県の文化財保護

—平成元年度—



1990.3

三重県教育委員会

例 言

1. 本書は、三重県教育委員会事務局文化部文化振興課が平成元年度に実施した、指定文化財及び埋蔵文化財の保護事業を中心にまとめたものである。
2. 国史跡齋宮跡の調査や整備等は、平成元年4月1日に開設した齋宮歴史博物館が別途、年報として報告する。
3. 齋宮跡以外の埋蔵文化財の発掘調査等は、平成元年4月1日に開設した三重県埋蔵文化財センターが別途、年報として報告する。
4. 市町村新指定・解除の文化財及び、文化財愛護強調週間行事、文化財防火デー行事については、市町村教育委員会からの報告をまとめたものである。
5. 県新指定と名称変更及び追加指定に係わる資料は、三重県文化財保護審議会委員の調査報告書によるものである。

目 次

<p>I 文化財の緊急調査</p> <p>1. 県内民謡緊急調査……………1</p> <p>2. 国指定天然記念物ネコギギ生息分布調査…1</p> <p>II 無形民俗文化財の公開</p> <p>第31回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会…5</p> <p>III 文化財の指定・解除</p> <p>1. 国新指定の文化財……………6</p> <p>2. 県新指定の文化財……………7</p> <p>3. 県指定文化財の名称変更及び追加指定…7</p> <p>4. 市町村新指定の文化財……………8</p> <p>5. 市町村指定解除の文化財……………9</p> <p>IV 文化財パトロール事業</p> <p>1. 事業の概要……………10</p> <p>2. 巡視報告……………10</p> <p>V 文化財愛護活動</p> <p>1. 文化財講習会……………13</p> <p>2. 文化財愛護活動推進方策研究……………13</p> <p>3. 文化財愛護強調週間行事……………15</p> <p>4. 文化財防火デー行事……………16</p> <p>5. 文化財保護連絡会議……………18</p>	<p>VI 国指定文化財の保護</p> <p>1. 保存修理……………18</p> <p>2. 指定文化財管理……………19</p> <p>3. 防災施設……………19</p> <p>4. 無形文化財の伝承・記録保存……………19</p> <p>5. 収蔵庫建設……………19</p> <p>6. 特別天然記念物カモシカ保護……………19</p> <p>7. 調 査……………20</p> <p>8. 現状変更等……………20</p> <p>VII 県指定文化財の保護</p> <p>1. 保存修理……………20</p> <p>2. 防災施設……………20</p> <p>3. 民俗文化財の伝承……………20</p> <p>4. 現状変更等……………20</p> <p>VIII 大規模開発と文化財保護</p> <p>1. 大規模土地取引事前協議……………22</p> <p>2. 開発行為に伴う設計協議……………23</p> <p>IX 銃砲刀剣類の保護・管理</p> <p>1. 登録審査員……………24</p> <p>2. 登録審査会の開催……………24</p> <p>3. 登録件数その他……………24</p> <p>4. 登録を受けた銃砲または刀剣類の譲受け相続等の届出の状況……………24</p>
---	--

(表紙写真)

安乗人形芝居

松ヶ崎かんこ踊

資料 県新指定等文化財調査報告書

資料1	一志郡白山町川口、木造十一面観音立像1軀(彫刻)……………25
資料2	上野市三田、木造薬師如来坐像1軀(彫刻)……………26
資料3	阿山郡伊賀町大字下柘植、霊山山頂遺跡……………27

I 文化財の緊急調査

1. 県内民謡緊急調査—第2年次— (国庫補助事業)

2年計画の第2年次。全国的にみて最も遅れて着手した事業であったが、兩年度で1,000曲を超える民謡を収録した。ひとえに47名の調査員の努力のたまものである。ただし、ここでいう民謡とは広く民俗音楽一般を指し、祭礼に伴う民俗芸能やわらべ歌なども含んでいる。また曲数としては、基本的に同一の歌のヴァリエーション(類歌)も数えている。

なお、調査結果は『三重県の民謡』としてとりまとめ、種類別に調査委員がその概要を記した。

(種 別)	(収録数)	(担当委員)
① 労 作 歌	156曲	高 橋 隆 二
② 祭り歌・祝い歌 (神事・年中行事・祝儀に関する歌)	132曲	西 山 嘉代子
③ 踊り歌・舞謡 (盆踊り歌・風流踊り歌)	171曲	久 野 壽 彦
④ 座 興 歌	45曲	大 月 玄 之
⑤ 語り物・祝福芸の歌	15曲	大 月 玄 之
⑥ 子 守 歌	68曲	久 野 壽 彦
⑦ わらべ歌 (遊戯歌・唱えごと)	472曲	杉 山 常 子
⑧ そ の 他	51曲	高 橋 隆 二

2. 国指定天然記念物ネコギギ生息分布調査—第1年次— (県費直営事業)

ネコギギは、伊勢湾に注ぐ河川にのみ生息する希少魚として国の天然記念物に指定されている(1977. 7.27)。しかし近年、急速に進む流水域周辺開発、河川改修などに伴う河川の改変によって本種の生息が危ぶまれる状況にある。

本種の生態についての重点的な調査研究はこれまでほとんどなく、三重県下の各河川における生息状況を把握することは、今後、本種を保護する上で重要である。

本調査は東海淡水生物研究会(代表、名越 誠 奈良女子大学教授)に委託し、3年計画で三重県下の各河川における本種の分布範囲を明らかにするとともに、主として員弁川水系において成長・寿命・食性・生息場所などの生活史を明らかにすることを目的とする。

平成元年度は、員弁川水系・宮川水系・五十鈴川水系、2年度は、員弁川水系・雲出川水系・榎田川水系、3年度は、員弁川水系・安濃川水系・鈴鹿川水系・朝明川水系をそれぞれ重点的に調査する。

なお、現地調査には主として清水義孝(自営)、森 誠一(京都大学理学部研究員)、渡辺勝敏(三重大学生物資源学部4年生)の各氏が当たった。

A 平成元年度調査計画

(1) 目 的

- ① 三重県内におけるネコギギ分布地の現状把握。
- ② 本種の生活史と生息環境条件の解明。
- ③ 以上の成果をふまえた、本種の保護対策の提示。

(2) 調査内容

① 三重県各地の河川、今年度は五十鈴川水系・宮川水系・員弁川水系を中心に、主に夜間、生息の確認、魚体の計測などを行なう。

② 各生息地の現況調査。

(3) 予定成果

① 主に、五十鈴川水系・宮川水系・員弁川水系での生息分布の確認。

② 各水系での生息分布地の生息環境の概要。

③ 本種の員弁川支流田切川における生活史、生息個体数の推定及び、生息に必要な生活環境の把握。

(4) 調査計画

① 調査は下記の日程で主に夜間行なう。

② 1回の調査は、2名ないし3名が2日から3日間、主に夜間行なう。

③ 員弁川支流田切川（北勢町下平）での生態調査は、各月2回ないし3回行なう。

8月上旬 中旬 下旬	員弁川支流相場川 五十鈴川水系島路川 宮川支流大内山川	11月上旬 中旬 下旬	田切川上中流域 五十鈴川水系神路川 宮川上流域
9月上旬 中旬 下旬	員弁川支流相場川 五十鈴川水系神路川 宮川上流域	12月上旬 中旬 下旬	員弁川本流中流域 五十鈴川水系島路川 宮川支流大内山川
10月上旬 中旬 下旬	員弁川本流中流域 五十鈴川水系島路川 宮川支流大内山川	1月上旬 中旬 下旬	田切川上中流域 員弁川本流中流域 田切川

B 調査結果（抄）

(1) 員弁川：生態調査を行った田切川以外の相場川の藤原町上相場とその支流大平川の藤原町上之山田で調査を行った。相場川ではギンプナ、カワムツ、オイカワ、カマツカ、タモロコ、アブラハヤ、タカハヤ、シマドジョウ、アカザ、ドンコおよびカワヨシノボリ以外の魚種は認められなかった。大平川では8月にネコギギ5個体を捕獲すると同時に他に3個体を観察した。ネコギギ以外に確認された魚種は相場川と同様である。

(2) 安濃川：雲林院・瀬野橋付近ではアユ、ギンプナ、カワムツ、オイカワ、カマツカおよびタモロコなど、雲林院・新田橋付近では、ギンプナ、カワムツ、オイカワ、シマドジョウ、カワヨシノボリおよびウキグリなど、北神山堰堤から上流では、ギンプナ、カワムツ、オイカワ、カマツカ、タモロコ、ドジョウ、シマドジョウ、ホトケドジョウおよびカワヨシノボリなどが確認されたが、いずれの場所でもネコギギは確認できなかった。

(3) 宮川：支流の大内山川水系では、大内山村梅が谷でカワムツ、オイカワ、タカハヤ、アジメドジョウ、シマドジョウ、アカザおよびカワヨシノボリなど、不動野でウナギ、ウグイ、カワムツ、オイカワ、カマツカ、イトモロコ、ニゴイ、シマドジョウ、ナマズおよびカワヨシノボリなどが確認されたが、ネコギギは確認されなかった。紀勢町坂津付近では、ネコギギを1個体捕獲し、1個体目視観察した。ネコギギ以外にウナギ、ウグイ、カワムツ、オイカワ、イトモロコ、ニゴイおよびナマズなどが確認された。紀勢町清瀬では9月にネコギギ25個体（雄4、雌21）、10月に32個体（雄3、雌29）、11月に19個体（雄2、雌17）、12月に3個体（雄1、雌1、未成魚1）を捕獲し、体長、体重などの測定を行った。捕獲したもの以外にもかなりの固体が観察され、生息密度が高いものと考えられる。ネコギギ以外にウグイ、カワムツ、オイカワ、イトモロコ、ニ

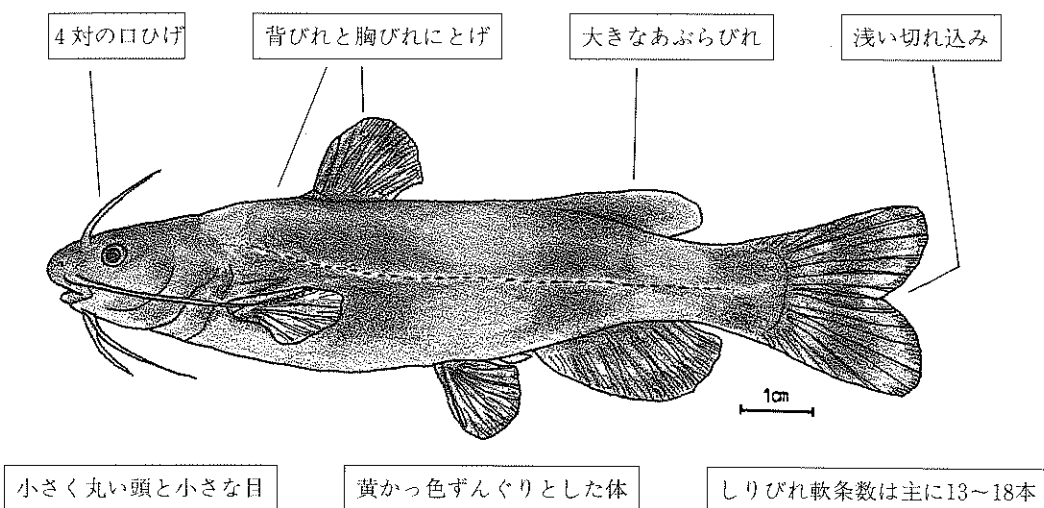
ゴイ、ナマズおよびカワヨシノボリなどが確認された。紀勢町下崎でも、多数のネコギギが観察された。この付近にもかなりの密度で分布しているものと考えられる。

支流の藤川水系の大宮町木屋では、ウグイ、アブラハヤ、カワムツ、オイカワおよびシマドジョウなどを確認したが、ネコギギは発見できなかった。しかし、聞込みによると、ネコギギをドホあるいはテッキリ(後者は琵琶湖産アユの放流に混じったギギの可能性もある)と呼んでおり、時々観察されるようである。

支流の横輪川日向橋から下村ではアマゴ、アブラハヤ、カワムツ、ギンプナ、アカザ、アジメドジョウおよびカワヨシノボリなどが確認されたが、ネコギギは観察できなかった。

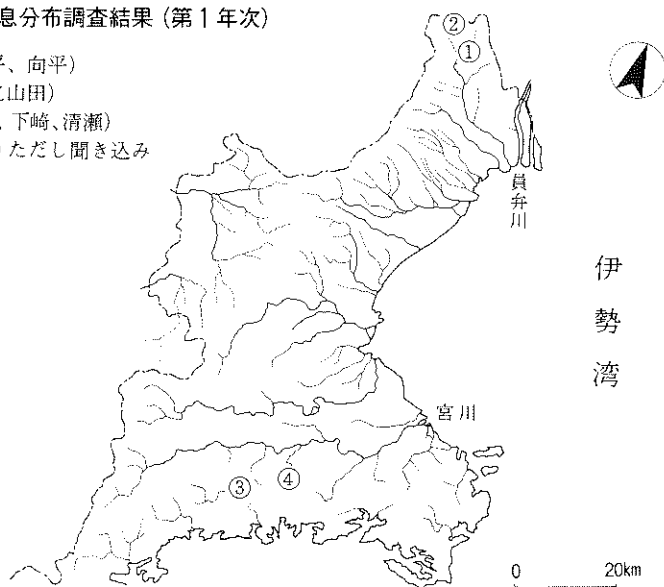
支流の一之瀬川の駒ヶ野~乙女岩付近ではネコギギの生息は確認できなかったが、聞込みによると、40~50年前まではいたが現在ではみられないとのことである。

(4) 五十鈴川：支流の神路川では8、9、11月の3回の調査を行い、ウナギ、アユ、ウグイ、アブラハヤ、カワムツ、オイカワ、カワムツ、ニゴイ、ギンプナ、アジメドジョウ、アカザ、ナマズ、ヨシノボリ、カワヨシノボリおよびボウズハゼなどが確認されたが、ネコギギは発見されなかった。



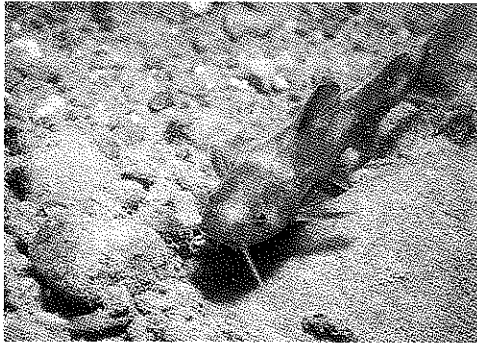
国指定天然記念物ネコギギ生息分布調査結果(第1年次)

- ① 田切川 (北勢町 下平、向平)
- ② 大平川 (藤原町 上之山田)
- ③ 大内山川 (紀勢町坂津、下崎、清瀬)
- ④ 藤川 (大宮町木屋) ただし聞き込み



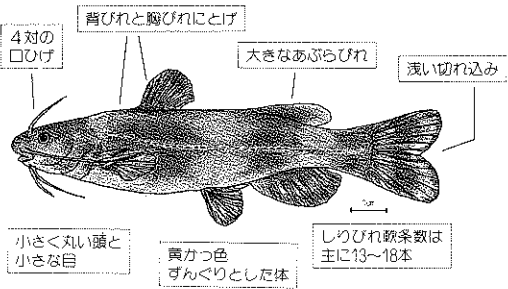
国指定天然記念物

ネコギギ



1986年4月12日、静岡県北条町印子川 写真：渡辺啓幸

東海淡水生物研究会編
三重県教育委員会発行



ネコギギ *Coreobagnrus ichikawai*

ネコギギという淡水魚をご存じでしょうか。

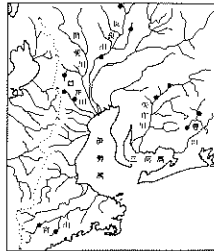
ネコギギは、体長10cm前後の小さなナマスの仲間です。上の図のような、4対の口ひげや、背びれと胸びれにとげのある、黄かつ色をした魚です。トホ、カン(すく)三重県富川水系など)、クワサス、ギユフタ、ネギ(岐阜県木曾・長良川水系など)、そのほか様々な地方名で呼ばれています。

関東・東北地方と九州にすむキナチの仲間や、ひわ湖をはじめ本州中部以西(伊勢湾周辺を除く)や四国の一部にすむキギなど、日本にすむ他のキギ類とは尾びれの形ではつきりと区別できます。キナチの仲間とは切れ込みのない尾びれをもち、キギは深く切れ込んだ尾びれをもっているのに対して、ネコギギは、図のように、その中間の浅く切れ込んだ尾びれをもっています。ネコギギはこれらキギ類のうち最も小さく、全体年にすんぐりと丸みを帯びていて、ネコギギという名前はよく似合っているとされます。

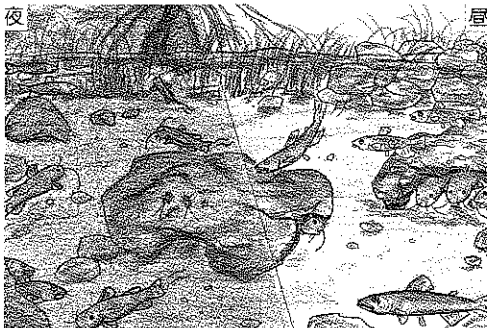
このネコギギは伊勢湾や三河湾に注ぐ川にだけすんでおり、学術的にも大変興味深

い魚です。以前は、それらの川の多くの場所
に普通にみられましたが、現在では、点
状にのみ生息地が確認されているだけと
なっています。もともとの分布の狭さと、近
年の生息数や分布地の減少から、1977年(国)
の天然記念物に指定されました。無許可での
捕獲や飼育などは禁じられています。

ネコギギは川の中でも中流や上流の流いの
ゆるやかな瀬の部分にいます。萱間、ヤナ
キやヨシなどの植物の茎や根または石垣など
によってできる川岸の洞穴や、大きな転石の
下などにひそんでいて、ほとんど姿を見せま
せん。10匹以上もたなまつりしていることもあります。一方、水量の下がる冬の
時期以外は、夜間、たくさんネコギギが、岸沿いや川床をユラユラと泳ぎ回って、
水生昆虫などの餌を探したりしています。



(●) 1977年指定されたネコギギの生息地



夜になるとよく出るネコギギたち。ほととこい、このなま

産卵期は7月頃で、昼間ひそんでいるような所で産卵は行われていると考えられま
す。

めずは体長7~8cm、おすは10~12cmくらいのものが多く見られます。雌雄は、産
卵の肛門の後ろにある突起の有無によってわかります。最高6年以上は生きるようです。

現在、ネコギギの生息数や生息地が急激に減少しています。理由としては、まず、
人間の活動に伴う川の汚染(工場やゴルフ場をして一般家庭からの排水など)が考え
られます。

また、川岸を平坦なコンクリートで固めて川を直線化した、浅い砂底の川にしてしま
うような、現在広く行われている河川工事は、ネコギギの生活場所や餌場そして産卵
場所自体を奪ってしまうので、ネコギギの生息に大きな影響を与えているといえます。

ネコギギはその生活の中で、きれいな、昔ながらの川の環境条件を強く必要とする
ため、このような人間活動による環境変化に対して非常に弱いのでしょう。ネコギギ
だけではなく、アコなどの魚をはじめ、多くの淡水生物がネコギギと同様に大
きな影響を受けているのが現状です。

これまでネコギギは、吸水性の魚類ということもあって、余り知られていません。急
激に減ってきました。人間の活動と、ネコギギをはじめとする野生生物の生活は共存
できないものではないはずです。生物の生態を詳しく知り、それらとうまく共存する
ように人間は生活して行きたいものです。



(これは、元年度に発行したリーフレットを、東海淡水生物研究会の了解を得て縮小・転載したものである。)

II 無形民俗文化財の公開

第31回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会－国庫補助事業－

趣 旨

近畿・東海・北陸ブロック12府県内に伝承されている民俗芸能のうち、価値の高いものを持ち回りで開催し広く一般に公開し、その鑑賞をとおして理解と認識を深め、あわせて上演芸能の解説書を作成し、無形の民俗文化財の保存・伝承を図る。

主 催

第31回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会実行委員会
三重県教育委員会、松阪市

協 賛

文化庁、全国民俗芸能保存振興市町村連盟（略称；全民連）
三重県文化週間協賛事業、文化庁移動芸能祭協賛公演

期 日

平成元年10月22日 10時00分～15時30分

会 場

松阪市民文化会館（松阪市川井町字大坪690）

上演種目（表紙及び裏表紙の写真参照）

1. 内日角まだら（石川）
2. 三尾の麒麟獅子舞（兵庫）県指定
3. しばんば踊り（富山）黒部市指定
4. 花園の仏の舞（和歌山）県指定、国選択
5. 土山の太鼓踊（滋賀）県指定
6. 田原の祭文及び祭文音頭（奈良）奈良市指定
7. 天王寺舞楽（大阪）国指定
8. 安乗人形芝居（三重）国指定
9. 吉田の振物（京都）
10. 銭太鼓（愛知）県指定
11. 伏屋の獅子芝居（岐阜）県指定
12. 羽根曾踊（福井）県指定
13. 松ヶ崎のかんこ踊（三重）県指定

そ の 他

上記芸能について解説書を作成したほか、記録撮影を35mmカメラ及びビデオカメラで行い、成果品を各府県・出演団体に送付した。なお、文化庁へはこれとは別個に文書記録を提出した。

Ⅲ 文化財の指定・解除

1. 国新指定の文化財

重要文化財 考古資料の部

(文化財保護法第27条第1項)

名 称	員数	所 有 者	告 示	備 考
三重県繩生廃寺塔心礎埋置品 一、ガラス舍利容器 一、石製外容器 一、三彩碗	1個 1合 1口	国(文化庁保管)	官報告示 第90号 元. 6. 12	朝日町繩生の白鳳時代寺院 跡 S61調査 町教委報告済

史 跡

(文化財保護法第69条第1項)

名 称	所 在 地 ・ 地 域	管理者	告 示	備 考
赤木城跡及び 田平子峠刑場跡	南牟婁郡紀和町赤木字中畑ケ 116.117-1~2、118、119-1 120-1~2、121 同字城山 871~872、873-1、884-1 885~886 同字タピラコ 800-1	紀和町 ほか	官報告示 第147号 元. 10. 9	赤木城は藤堂高虎が天正16 年(1588)に築城、近世城郭 の原形を残す 刑場跡は土豪の抵抗の過程 を示す遺跡(昨年度分に掲 載したのは、文化財保護審 議会に答申された日付け)
夏見廃寺跡	名張市夏見字赤坂 2348-1の内の実測324.09㎡、 2359~2366、2369~2370、2378~2379 の内の実測290.14㎡ 同字男山 2771、2771-1~3、2773、2774の内 の実測333.20㎡、2775~2776 右の地域に介在する道路敷を含む。	名張市 ほか	官報告示 第15号 2. 3. 8	「1筆の土地のうち一部の みを指定するものについて は、地域に関する実測図を 三重県教育委員会及び名張 市教育委員会に備え縦覧に 供する。」 白鳳時代寺院 S59~62市教委、調査報告済



紀和町 田平子峠刑場跡



名張市 夏見廃寺跡

重要無形民俗文化財

(文化財保護法第56条の10第1項)

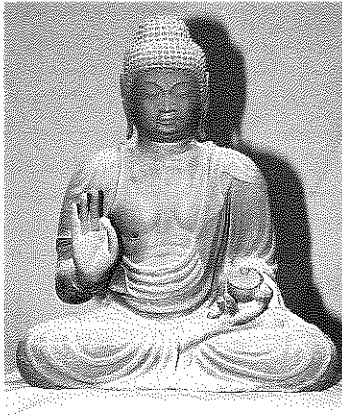
名 称	所在地・地域	保 護 団 体	告 示	備 考
磯部の御神田	志摩郡磯部町	磯部の御神田奉仕会	官報告示 第29号 2. 3. 29	伊雑宮田植祭毎年6月24日 一種の田楽



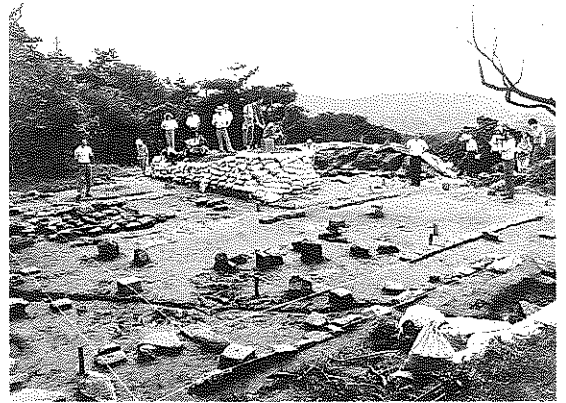
磯部町 磯部の御神田



白山町川口 木造十一面観音立像



上野市 西盛寺木造薬師如来坐像



伊賀町 靈山山頂遺跡

2. 県新指定の文化財

有形文化財（三重県文化財保護条例第5条第1項）

種別	名 称	員数	時代	所 在 地	所有者 管理者	告 示	備 考
彫刻	木造十一面観音立像	1 軀	平安	一志郡白山町大字 川口字瀬古 瀬古区公民館	瀬古区	告示第10号 2. 3. 27	像高47.2cmの一木造 H元年2月町指定
彫刻	木造薬師如来坐像	1 軀	平安	上野市三田1547	西盛寺	告示第10号 2. 3. 27	像高60.2cmのヒノキ造 H元年2月市指定

3. 県指定文化財の名称変更及び追加指定

記念物（三重県文化財保護条例第35条第1項）

種別	名 称	時代	所 在 地	所有者 管理者	告 示	備 考
史跡	靈山山頂遺跡	中世	阿山郡伊賀町大字下柘 植字遺山3471-1・4	靈山寺	告示第11号 2. 3. 27	S16. 9. 26付け三重県告示第1090 号で指定した「伊賀靈山寺奥ノ院 金仏」を追加指定のうえ名称変更

4. 市町村新指定の文化財

種別	名称	員数	時代	所在地	所有者・管理者・ 伝承者	指定年月日	指 市 町 村	
有	建	顯正寺山門 (旧神戸城天守閣)	1棟	江	四日市市 西日野町2970	顯正寺 真弓葆光	平2.3.30	四日市市
"	"	石薬師薬師堂	1棟	江	鈴鹿市 石薬師町1	石薬師寺 福田寛随	平元.7.6	鈴鹿市
"	絵	光明本尊	1幅	南	鈴鹿市 神戸2-9-10	願行寺 榎森良寿	"	"
民	有	那智参詣曼荼羅	"	江	津市 大字南路438	南河路自治会長	平2.3.5	津市
"	"	熊野観心十界曼荼羅	"	"	"	"	"	"
"	"	百万遍念仏用具	1組	"	"	"	"	"
有	典	近世初期上方絵本	17冊	"	松阪市 射和町284	射和町自治会 竹川欽也	平元.7.25	松阪市
民	有	徳本上人六字名号碑	1基	"	熊野市神川町 神上字城山	徳村敬一	平元.7.28	熊野市
有	絵	仏涅槃図	1幅	"	菰野町大字 菰野字門内	智福寺	平元.4.1	菰野町
民	無	共敬かんこ踊り	—	—	小俣町共敬	共敬社	平元.6.8	小俣町
"	"	下小俣かんこ踊り	—	—	小俣町下小俣	下小俣かんこ踊り 保存愛好会	"	"
民	有	紙本熊野観心十界曼荼羅	1幅	江	小俣町元町753	浄土寺	"	"
有	工	掛橋六字名号塔	1基	"	小俣町本町1056	掛橋区	"	"
無	民	官舎神社獅子舞い	—	—	小俣町	官舎神社獅子舞い 保存会	"	"
"	"	掛橋御頭舞	—	—	小俣町掛橋	掛橋御頭舞 保存会	"	"
有	古	離宮、八王子神主宛 稲葉大夫寄進状	1通	江	小俣町本町1446	官社神社	"	"
"	"	離宮神主中宛 藤堂和泉守寄進状	"	"	"	"	"	"
有	彫	木造阿弥陀如来坐像	1軀	鎌	小俣町元町1211	慶蔵院	"	"
有	考	川西出土石斧	1個	縄	伊賀町川西764	福永一芳	平元.4.1	伊賀町
"	"	菰池1号古墳出土品	一括	古	伊賀町 下柘植728	町教育委員会	"	"
"	"	筒御前古墳出土品	"	"	伊賀町 下柘植728	"	"	"
"	"	天長山古墳出土品	"	"	"	"	"	"
"	"	的場遺跡出土品	68点	古～ 室	"	県教育委員会	"	"
"	史	靈山山頂遺跡		平～ 桃	伊賀町 下柘植3252	靈山寺	"	"
"	"	柏野城跡		室	伊賀町柏野238	転輪寺	"	"

種別	名称	員数	時代	所在地	所有者・管理者・ 伝承者	指定年月日	指定 市町村
有	竹島城跡		〃	伊賀町愛田1096	竹島玲太郎	平元. 4. 1	伊賀町
〃	壬生野城跡		〃	伊賀町川東1501	田中清司	〃	〃
民無	日置神社カッコ踊り		〃	伊賀町 下柘植2206	日置神社	〃	〃
有	彫 長福寺版木	2枚	室	伊賀町 柘植町7373	萬寿寺	〃	〃
〃	〃 十一面観世音菩薩	1軀	江	伊賀町 下柘植3252	靈山寺	〃	〃
〃	書 倉部川余水貰受書・碑	1枚 1基	〃	伊賀町 柘植町7109	松尾宗次	〃	〃
〃	〃 上柘植村文書	一括	〃	伊賀町 下柘植728	町教育委員会	〃	〃
〃	〃 山畑文書	15冊 5枚	〃	伊賀町山畑1457	山下利雅	〃	〃
〃	〃 北打山山論文書	一括	桃～ 明	伊賀町 下柘植728	町教育委員会	〃	〃
有	考 靈山経塚遺跡銅鏡	3面	平	伊賀町 下柘植3252	靈山寺	〃	〃
〃	〃	1面	〃	伊賀町 下柘植728	町教育委員会	〃	〃
〃	〃 靈山経塚遺跡出土品	一括	〃	〃	〃	〃	〃
〃	書 植木宮大般若経	5巻	平	大山田村 大字平田650	大山田村	平元. 7. 1	大山田村
〃	史 龍王碑	1基	江	紀伊長島町 三浦小谷164-1	三浦区長	平元. 9. 29	紀伊長島町
〃	〃 江龍庚申碑	〃	〃	紀伊長島町十須 字橋屋谷704-7	十須区长	〃	〃
〃	彫 観音菩薩立像	1軀	鎌	海山町小山浦	長泉寺	平2. 2. 14	海山町
〃	〃 勢至菩薩立像	1軀	〃	〃	〃	〃	〃
〃	工 刀（紀州住高木国長）	1振	〃	紀和町板屋	町教育委員会	平元. 4. 7	紀和町

5. 市町村指定解除の文化財

種別	名称	員数	時代	住所	伝承者	指定解除 年月日	解除理由
無	工 萬古焼(手ろくろ急須) 技術 保持者	—	—	四日市市南 いかるが町19-4	清水源	平2. 3. 19	死亡

Ⅳ 文化財パトロール事業

1. 事業の概要

県下の指定文化財（国・県）及び埋蔵文化財包蔵地を巡視し、常時、文化財の管理・保存状況を把握して適切な処置を講じ、文化財の保護に万全を期することを目的として、三重県文化財調査員（P12参照）を任命して調査活動を行っている。

2. 巡視報告

（天然記念物・名勝）

名 称	所 在 地	点 検 結 果
美鹿の神明スギ	多 度 町	異常なし
多度のイヌナシ自生地	〃	説明板不備、標柱腐食
坂本のボダイジュ	藤 原 町	〃
篠立の風穴	〃	異常なし
東阿倉川イヌナシ自生地（国指定）	四 日 市 市	〃
西阿倉川アイナシ自生地（国指定）	〃	〃
御池沼沢植物群落（国指定）	〃	〃
奥郷の寒椿「獅子頭」	菰 野 町	〃
宗英寺のイチョウ	亀 山 市	説明板不備
長太の大クス	鈴 鹿 市	枯損あり
白子の不断ザクラ（国指定）	〃	異常なし
金生水沼沢植物群落（国指定）	〃	説明板不良
石薬師の蒲ザクラ	〃	枯損、病虫害あり
川俣神社のスダジイ	〃	異常なし
西の城戸のヒイラギ	〃	〃
アイナシ	〃	病虫害あり
小岐須の屏風岩	〃	説明板不備
鈴鹿山の鏡岩	関 町	境界線不明
椋本の大ムク（国指定）	芸 濃 町	一部枯損
長徳寺の龍王ザクラ	〃	異常なし
柳谷の貝石山	美 里 村	境界線不明
榊原の貝石山	久 居 市	異常なし
矢頭の大スギ	一 志 町	〃
国津神社のケヤキ	美 杉 村	〃
東平寺のシイノキ樹叢	〃	〃
真福院のケヤキ	〃	説明板不備
不動院のムカデラン群落（国指定）	松 阪 市	雑草除去必要
水屋の大クス	飯 高 町	異常なし
西村広林宅址のフウ樹	多 気 町	〃
栃ヶ池湿地植物群落	〃	道路改良工事のため移植、生育不良
斎宮のハナショウブ群落（国指定）	明 和 町	乾田化のため株数激減
大杉谷（国指定）	宮 川 村	千尋滝付近崩落地あり
大杉谷の大杉	〃	枯損あり
道方の浮島	南 島 町	異常なし

名 称	所 在 地	点 検 結 果
高倉神社のシブナシガヤ (国指定)	上 野 市	標柱・説明板なし、枯損大
果号寺のシブナシガヤ (国指定)	〃	枯損あり
長瀬のヒダリマキガヤ	名 張 市	異常なし
九木神社樹叢 (国指定)	尾 鷲 市	枯損あり、伐採立会い
矢ノ川陰谷樹叢	〃	異常なし
法念寺のテツギョ	〃	〃
九木崎樹叢	〃	〃
佐波留島	〃	〃
フウラン群生地	紀伊長島町	〃
豊浦神社社叢	〃	〃
徳司神社社叢	熊 野 市	付近に駐車場設置
阿田和の大クス	御 浜 町	異常なし
市木のイブキ	〃	〃

(史 跡)

名 称	所 在 地	点 検 結 果
千草城跡	菰 野 町	異常なし
杉谷遺跡	〃	石造物の一部散逸、盗掘1ヶ所あり
明合古墳 (国指定)	安 濃 町	異常なし
長野氏城跡 (国指定)	美 里 村	〃
向山古墳 (国指定)	松 阪 市	〃
大河内城址	〃	長雨による斜面崩壊あり
伊勢寺址	〃	異常なし
松ヶ島城址	〃	周辺に放置物あり、境界不明
五ヶ所城附愛洲氏居館址及墳墓	南 勢 町	異常なし
おじょか古墳	阿 児 町	〃
御墓山古墳 (国指定)	上 野 市	〃
長楽山廃寺跡 (国指定)	〃	〃
廃補陀落寺町石 (国指定)	〃	一部碑面荒れる
伊賀国分寺跡 (国指定)	〃	異常なし
西蓮寺の供養塔	〃	〃
猪田神社古墳附古井	〃	〃
美旗古墳群 (国指定)	名 張 市	〃
夏見廃寺跡 (国指定)	〃	〃
春日神社境内の石燈籠	〃	水滴による破損進行
勝手神社境内の石燈籠	〃	〃
鳳凰寺址	大 山 田 村	異常なし
寺音寺古墳	〃	〃
二木島の一里塚	熊 野 市	〃
赤木城跡 (国指定)	紀 和 町	〃

(美術工芸品・考古資料・古文書)

名 称	所 在 地	点 検 結 果
伊勢神島祭祀遺物 (国指定)	鳥 羽 市	異常なし
木造阿弥陀如来立像	大 宮 町	"
木造十一面観音立像 (国指定)	度 会 町	"
紙本墨書大般若経	南 勢 町	"
岩根の磨崖仏	上 野 市	"
岩造板碑	"	"
木造阿弥陀如来坐像 (国指定)	"	"
木造不動明王像 (国指定)	名 張 市	"
黒漆厨子 (国指定)	"	"
紙本墨書尾鷲大庄屋文書	尾 鷲 市	"
須賀利浦方文書	"	"

(建造物)

名 称	所 在 地	点 検 結 果
高倉神社附棟札 (国指定)	上 野 市	異常なし
猪田神社本殿附棟札 (国指定)	"	"
射手神社十三重塔 (国指定)	"	梵字面荒れる
町井家住宅 (国指定)	"	異常なし
猪田神社本殿附棟札	"	"
木造閻魔堂	"	内陣床破損、軒地垂木波打つ
大村神社宝殿附棟札 (国指定)	青 山 町	異常なし

[平成元年度 三重県文化財調査員一覧]

北 勢 (10)	伊 東 春 夫 片 岡 雅 章 丹 羽 徹 松 本 覚 川 添 護 桐 生 定 己 鎌 田 雅 生 大 場 範 久 三 浦 儀 直 安 川 富 春
	河 合 良 成 高 森 英 純 下 村 純 也 小 林 和 彦 本 堂 弘 之 津 村 善 博 宮 崎 洋 史

松 阪 (8)	中 川 明 世 古 且 守 岡 本 好 雅 小 林 直 人 奥 谷 義 一 筒 居 利 久 三 井 博 之 福 田 昭
	中 西 正 典 大 西 素 行 東 高 浩 成 南 勢 志 摩 (10) 村 上 喜 芳 山 崎 富 三 竹 内 正 弘 川 添 昭 博 田 村 俊 一

上 野 (10)	市 田 進 一 福 井 健 二 中 山 本 武 曉 岡 寺 岡 光 和 森 前 西 三 奥 前 西 稔 松 鹿 昭 勲 竹 内 英 二 谷 戸 雄 実
	尾 鷲 (2) 田 崎 通 雅 湊 章 治
熊 野 (3)	福 村 直 人 田 中 安 弘 古 部 均

V 文化財愛護活動

1. 文化財講習会 ー第7回ー

- (1) 目的 文化財保護に携わっている三重県文化財調査員、県及び市町村文化財保護関係委員、文化財所有者・管理者・文化財保護行政担当者を対象として、文化財保護に関する基礎的知識と技能等の研修を行い、もって資質の向上を図るとともに、文化財の保護と活用の強化に資する。
- (2) 主催 三重県教育委員会・全国重要文化財所有者連絡協議会三重支部
- (3) 期日 平成元年11月9日
- (4) 会場 斎宮歴史博物館講堂
- (5) 内容 文化財の保存について
- (6) 日程 10:00～14:30



文化財講習会

午	9:30～10:00	受付(受付・全文連三重支部会費納入)
	10:00～10:15	開会行事(挨拶・日程説明・講師紹介)
	10:15～10:45	講座1「斎宮歴史博物館の開館について」 斎宮歴史博物館長 中林昭一氏
前	10:45～12:00	講座2「専修寺如来堂保存修理工事について」 師文化財建造物保存 技術協会 額家堯之氏
	12:00～13:00	昼食休憩
午後	13:00～14:30	展示鑑賞・館内見学、閉会
	14:30～15:30	平成元年度全文連三重支部総会

2. 文化財愛護活動推進方策研究

- (1) 実践研究の主題
“土による造形教室”の活動を通じた地域の伝統技術(伊賀焼き)の基礎学習
- (2) 実践研究団体 上野市阿山町学校組合立丸柱小学校
- (3) 実施期間 平成元年7月1日～平成2年2月28日
- (4) 実践研究の場の地域特性

本校は、市街地から離れた上野市の最北部に位置し、上野市諏訪と阿山町丸柱・音羽両地区を校区とする組合立の学校である。児童数127名の小規模校で、まわりを緑で包まれた自然環境に恵まれた場所にある。

校区はいずれも静かな山村であるが、諏訪・丸柱・音羽地区は、伝統工芸伊賀焼きの生産地としてその名を知られ、地区内にはおよそ30余件の生産業者が集まっている。一方、諏訪地区は山間に開けた集落で、農業も小規模であり、殆どの家は上野市内などの会社・商店・工場などへ通勤しているが、鉄鋼業・窯業など地区内の下請工場に働きに出ている。

	丸柱地区	音羽地区	諏訪地区	合計
面積(km ²)	8.50	3.91	10.1	22.06km ²
戸数(戸)	185	52	238	475戸
人口(人)	728	209	891	1,828人
児童(人)	47	12	68	127人

特に丸柱地区にあっては、伊賀焼きの本場として知られているが、近年、夫婦共広範囲に上野市街、阿山町中心部へ通勤するようになるにつれ、地域の文化財(古伊賀の焼き物の伝統)としての「ふるさとを思う心」が若者をはじめ子どもたちには薄らいできている。

- (5) 実践研究の当初のねらいと研究事項

焼き物の里で育つ子どもたちも時代の流れに押され、進学傾向・都会指向に傾きつつあり、自分のあしもとにある親の仕事・地域の誇りある仕事に関心や誇りをもっていないのが現状である。

そこで、PTA会員及び地域で窯業に携わっている

人々の力を借りて、子どもたちに伊賀焼きへの理解と関心を深めるために「土による造形教室」活動を実践してきた。今年でその3年目を迎え、校庭のあちこちに陶芸作品の花を咲かせている。

「自然をテーマにして、大きなトーテム・ポールを作ろう」

この制作活動を通して、特色ある地域の風土の中で、優れた伝統技術に理解と関心を深め、その基礎を培う学習を進めたいと考えた。

① 活動計画を立てる

- ア. 活動の意義、創作のテーマを話し合う
- イ. 作品の規模について
- ウ. 児童、PTA会員の参加規模について
- エ. 作品の発表、設置について
- オ. 窯入れ～窯出し～作品の設置に関する日程について

② 講師及び実習生の招聘について

③ PTA、地域住民へ協力参加の呼び掛けについて

④ 経費について

(6) 実践研究の概要

① 日程について

- 7月12日(水) 造形教室実行委員会結成
- 8月7日(月) 準備、オリエンテーション
- 8月8日(火) 制作(ミニチュアづくり)
- 8月9日(水) 制作(実物づくり)
- 8月10日(木) 制作(形成仕上げ)
- 8月24日(木) 着色(4年生グループ)
- 8月26日(土) 着色(5年生グループ)
- 8月30日(水) 着色(6年生グループ)
- 9月8日(金) 釉薬つけ及び窯入れ(1)
- 9月11日(月) 釉薬つけ及び窯入れ・窯出し(2)
- 10月1日(日) 釉薬つけ及び窯出し・窯入れ(3)
- 10月3日(火) 窯出し・窯入れ
- 10月5日(木) 窯出し・窯入れ
- 10月7日(土) 窯出し・窯入れ
- 10月9日(月) 窯出し・窯入れ



10月11日(水) 窯出し

10月19日(木) 第39回上野市民美術展展示「市長賞」受賞

10月22日～10月25日 展示会

10月26日(金) 展示作品搬出

11月2日～5日 阿山町民展展示

11月6日(月) 阿山町民展より作品搬出

11月26日(日) トーテム・ポール土台づくり

12月3日(日) トーテム・ポール積み上げ

12月17日(日) トーテム・ポール積み上げ完成

② 組織について

- ・児童4年～6年の64名(全員)参加する。
- ・1チーム平均4名の16チーム編成とする。
- ・PTA会員はじめ陶芸に関心のある一般会員を募り、「造形教室実行委員会」を組織し、児童の手の届かない作業部分を児童と一緒に援助活動をする。

③ 講師等について

田畑 進教授 三重大学教育学部美術科彫塑研究室
同研究室実習生18名

山本雄之、小島憲二(両氏共陶芸職人・PTA会員)

④ 準備とオリエンテーション〔8月7日(月)〕

準備→粘土2トン、粘土板、大シート、へら、ダンボール、針金、はさみ、カッターナイフ等

- ア. 講師・実習生と児童との顔合わせ
- イ. 活動の意義、活動計画について話し合う
- ウ. グループ分け
- エ. 創作のテーマ設定をする
 - ・全体テーマ《自然》
 - ・グループテーマ ☆風 ☆森 ☆太陽 ☆夕立



☆花 ☆虫 ☆光 ☆恐龍の塔 ☆春夏秋冬
☆かみなり ☆星 ☆氷と光 ☆夢のある木 等

- ⑤ ミニチュアづくり〔8月9日(休)〕
テーマにしたがって、粘土で模型づくりに取り組む。
- ⑥ 釉薬つけ・窯入れ開始〔9月8日(金)〕
・各班毎に順序よく並べる。
・コンプレッサーで釉薬を吹き付ける。
・窯入れ 1窯 →24時間
→プロパンガス50キログラム×3本

(7) 実践研究の成果

- ① 豊富で良質な粘土(伊賀から産出)を用い、思いきり体ごと自己表現する体験を通して、郷土の伝統工芸のよさにより大きな興味を抱かせることができた。
- ② 講師・学生・PTA・学校職員が一体となって子どもの造形活動を援助していくことで、大人も地域の文化の原点に触れることができたとともに、子どもたちの造形意欲に新たな発見と関心を深めることができた。「将来、後継者が出ると良いなあ。」という大人のささやきや「こんどはろくろを回して、茶碗や壺をつくってみたいなあ。」という子どもたちの声も出てきた。

③ 市民美術展や阿山町民展に出品し、受賞したということで、丸柱小学校の地域性を広く再認識してもらうことができた。子どもたちには「故郷を大切に思う」ことに誇りと自信を持たせるものと思われる。

- ④ 土の扱い、着色、釉薬かけ、窯焼き、組み立て等の作業を通して、陶芸を家業にするPTA会員にリードされて、伝統技術の基礎を学ぶことができた。
- (8) 実践研究を通して反省・特記すべき事項

- ① 子どもたちにとっては大規模なもので、持ち運び等が思うに任せず、大人の手で援助する形となった。が、このことによって、親子ふれあひながら、ふるさとの伝統文化の基礎を互いに学ぶことができた。
- ② PTA特別委員会として、「造形教室実行委員会」会員を募って、援助活動の日程を組んできたが、土曜・日曜・夜間にわたる作業であったので苦勞が多かった。出来上がりを喜ぶ子どもたちの顔を見て、教育的取組の大きさに気付かされた。
- ③ 費用の面で、PTA負担・役員負担の占める割合が大きいことや作業の時間的な問題については、今後に残された課題である。

3. 文化財愛護強調週間行事(11月1日~11月7日)

1. 県			
実 施 状 況	実 施 概 要		
第31回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会 第7回文化財講習会 天然記念物日本鶏審査会	13団体約600名出演、約800名入場 建造物保存修理等について講演 約120名受講 30名が63点を出陳	(10月22日)	(11月9日) (11月12日)
2. 市町村			
桑名市	文化財巡り	勢和村	文化財防犯防災広報
四日市市	文化財愛護啓発活動他	伊勢市	文化財講演会
鈴鹿市	史跡見学会	玉城町	文化財巡り
多度町	文化祭	小俣町	文化財巡り、郷土芸能公演
大安町	文化祭	大宮町	文化財研修会
藤原町	文化祭	南勢町	文化財巡り
菰野町	文化財展	南島町	文化祭
楠町	パンフ作成	御園村	文化財防火訓練
関町	民俗芸能大会	大内山村	文化財巡り
津市	史跡見学会	度会町	芸能大会・講演会
芸濃町	文化展	名張市	文化財巡り・歴史教室
美里村	文化祭	伊賀町	文化財展・文化財巡り
安濃町	郷土資料展	大山田村	文化財展・文化財巡り
一志町	埋蔵文化財展	青山町	ふるさと歴史教室
嬉野町	民俗芸能大会	尾鷲市	文化財パトロール
松阪市	文化財公開他	海山町	文化財展
飯南町	文化財防犯防災広報	熊野市	文化財標柱整備
明和町	文化祭・斎宮跡 walkrally	紀宝町	文化財展・文化財巡り
大台町	文化財展	紀和町	文化財防災広報

4. 文化財防火デー行事 1月26日 -第36回- (国・県指定文化財分)

実施機関名	実施概要	実施月日	対象文化財名・管理者
桑名市	消 火 訓 練	1月25日	照源寺松平定綱及一統之墓所 (県、史)
多度町他	防 火 訓 練	2月5日	多度神社紙本墨書神宮寺伽藍縁起並資材帳 (国、書)・銅鏡 (国考) 金銅五鈷鈴 (国、工)
四日市市他	防火施設点検・防火訓練	1月24日	南納屋町鯨船山車・中納屋町大入道山車 (県、有民)、千福寺毘沙門天立像 (県、彫)
		1月25日	顕正寺阿彌陀如来立像及び胎内納入文書・大聖院不動明王立像 (国、彫)、顕正寺阿彌陀如来坐像 (県、彫)
		1月26日	観音寺慈恵大師座像 (国、彫)・仏涅槃図 (県、絵画)
鈴鹿市他	消火訓練・防火施設点検	1月24日	林光寺木造千手観音立像・太子寺木造善然上人坐像・妙福寺木造大日如来坐像・妙福寺木造釈迦如来坐像2軀 (国、彫)、南陽寺木造釈迦如来坐像 (県、彫)、酒井神社古文書 (県古、江島若宮八幡神社絵馬群 (県、有民)
亀山市他	消 火 訓 練	1月23日	慈恩寺木造釈迦如来立像 (国、彫)
関町他	防 災 訓 練	1月26日	地藏院本堂・愛染堂・鐘楼 (国、建)
津市消防署 津市教育委員会	消防施設点検・防火訓練	1月28日 ~26日	谷川士清宅・専修寺御影堂 (国、建)、慈知院本堂 (県、建)、四天王寺木造薬師如来坐像・勝久寺木造聖観音立像・蓮光院木造大日如来坐像・大長寺木造地藏院菩薩半跏像 (国、彫)、地藏院絹本着色地藏菩薩像・西来寺絹本着色阿彌陀如来来迎図 (国、絵)
津市消防署 芸濃分署	防 災 訓 練	1月25日 1月26日	美濃夜神社棟札
安濃町自治会	防火・警備体制の点検	1月13日	善福寺木造毘沙門天立像 (国、彫)、松原寺木造聖徳太子立像 (県、彫)
白山町 久居地区広域消防組合	防 火 訓 練	1月20日	成願寺絹本着色仏涅槃図 (国、絵)・紙本墨書成願寺文書 (県、古)、布帛墨書真盛筆戸帳名号 (県、書)
嬉野町教育委員会	防火施設点検・草刈り	1月22日 1月26日	薬師寺木造薬師如来立像 (国、彫)、向山古墳 (国、史)
松阪消防署 三雲分署	査 察 指 導	1月26日 1月27日	永善寺木造薬師如来坐像 (国、彫)
本居宣長記念館他	防 災 訓 練	1月26日 1月27日	本居宣長旧宅 (国、特史)
広域消防 飯南出張所	防災訓練・施設点検	1月26日	来迎寺銅鐘 (県、工)
伊勢市教育委員会他	防火施設点検	1月22日 1月23日	久昌寺木造阿彌陀如来立像 (国、彫)、茜社獅子頭 (県、彫) 神宮徴古館伊勢新名所絵歌合 (国、絵)、神宮文庫玉篇 (国、書)、神宮林崎文庫 (国、史)
	防 災 訓 練	1月25日 1月26日	光明寺結城宗広夫人書状 (国、書)、寂照寺経蔵 (県、建) 金剛証寺本堂 (国、建)
大内山村 教育委員会	査 察 指 導	1月24日	長久寺木造阿彌陀如来坐像 (県、彫)

実施機関名	実施概要	実施月日	対象文化財名・管理者
鳥羽市消防署他	防火施設点検	1月26日	叻東海水産科学協会「海の博物館」伊勢湾・志摩半島・熊野灘の漁撈用具(国、重有民)
御園村消防団	消防訓練・施設点検	1月7日	御頭神事(国、無民)
南島町教育委員会	消防施設点検	1月22日	村山区ほか木造大日如来坐像(県、彫)
玉城町教育委員会他	消防施設点検	1月17日	田宮寺木造十一面観音像2軀(国、彫)、山神の獅子舞(県、無民)
阿児町教育委員会他	消防施設点検	1月26日	安乘人形芝居(国、無民)、国分寺木造薬師如来坐像(県、彫)、薬師堂大般若経(県、書)
南勢町教育委員会他	消防施設点検	1月25日	正泉寺紙本墨書大般若経(県、書)
伊勢消防署他	消防施設点検及び漏電検査	1月16日 19日	度会町正法寺木造十一面観音立像(国、彫)、下久具獅子頭(県、有民) 二見町明星寺木造薬師如来坐像(国、彫)・木造阿彌陀如来坐像(県、彫)・大江寺木造千手観音坐像(国、彫)・松下区紙本墨書大般若経(県、書)
志摩広域消防組合	消防施設点検	1月26日	志摩町越賀の舞台(県、有民)・旧越賀村郷倉(県、史)
名張市教育委員会他	消防訓練他	1月26日	宇流富志禰神社能狂言面(県、彫)
上野市教育委員会他	消防訓練・消防施設点検	1月26日 1月28日	愛宕神社本殿(県、建) 町井家住宅(国、建)
阿山町教育委員会	消防施設点検	1月26日	西音寺木造薬師如来坐像(県、彫)
伊賀北部消防組合	消防訓練・消防施設点検	1月26日	観菩提寺楼門附棟札・正月堂(国、建)・木造十一面観音立像(国、彫)、木造聖観音立像・木造十一面観音立像・木造多聞天立像・木造広目天立像(県、彫)・絹本着色仏涅槃図(県、絵)・鱈口(県、工)
青山町教育委員会他	消防訓練・消防施設点検	1月26日	大村神社宝殿(国、建)、宝蔵寺木造十一面観音立像(国、彫)、常楽寺大般若経(国、書)他

5. 文化財保護連絡会議

(1) 日時・場所

教育事務所	開催日時	場所
北勢	5月28日(月) 13:30~15:00	県四日市庁舎 5階第8会議室
中勢	6月1日(金) 13:30~15:00	県津庁舎 6階第63会議室
松阪	6月4日(月) 13:30~15:00	県松阪庁舎 6階大会議室
南勢・志摩	6月5日(火) 13:30~15:00	県伊勢庁舎 3階第4会議室
上野	5月31日(木) 13:30~15:00	上野教育事務所 大会議室
尾鷲・熊野	6月8日(金) 13:30~15:00	県熊野庁舎 5階第9会議室

(2) 内容

- ① 公共事業と埋蔵文化財の保護について
- ② 事前協議の強化について

(3) 出席者

各土木事務所担当者 各農林事務所担当者 各市町村開発関係担当者
各市町村教育委員会担当者 各教育事務所担当者 齋宮歴史博物館担当者
埋蔵文化財センター担当者 文化振興課担当者

VI 国指定文化財の保護 — 国庫補助・県費補助事業 —

() 内は事業主体者

1. 保存修理

(1) 建造物 専修寺如来堂 (津市専修寺)

真宗高田派本山専修寺如来堂は、全面的な屋根の痛みや縁板の腐蝕が目立ってきているため、昭和57年から保存修理事業に入り、本年度は、如来堂と御影堂を結ぶ通天及び渡り廊下の再建及び如来堂周辺の復元を行った(継続)。

(2) 建造物 金剛証寺本堂 (伊勢市金剛証寺)

江戸時代初期の建立で、昭和4年に解体修理、34年に屋根葺替を行ったが基盤の地割れが急速に進行中のため、昭和61年度から基礎調査し、平成元年度より4か年計画で解体修理に着手した。本年度は、本堂の解体と周辺建物の移動等を行った(継続)。

(3) 建造物 猪田神社本殿 (上野市猪田神社)

室町時代再建の一間社流造、桧皮葺の本殿は、経年の腐朽が甚しく、雨水の浸透により向拝廻りの小屋組材も一部腐朽し、塗装も全般的に褪色剥離しているため、屋根桧皮全面の葺替と塗装等を行った(新規)。

(4) 彫刻 木造阿弥陀如来坐像ほか1軀 (津市蓮光院)

大正4年3月26日に重要文化財に指定された2軀について、金箔の剥離と部分的な虫損を防止するとともに小修理を行った(新規)。

(5) 史跡 上野城跡 (上野市)

構築後400年を経た石垣が随所ではらみを生じ崩壊の恐れがあるため昭和55年度より復元工事に着手し、本年度は第Ⅰ期工事の最終年度として、城跡東端部分の積替え等を行った(継続)。

(6) 伝統的建造物群 関町関宿重要伝統的建造物群保存地区 (関町)

昭和59年12月10日に重要伝統的建造物群保存地区に選定された中で、修理事業(半解体修理3戸、屋根葺替え1戸)、修景事業(増築等2戸、新築1戸)の7件を対象として行った(継続)。

2. 指定文化財管理

(1) 建造物 観菩提寺楼門屋根小修理 (島ヶ原村観菩提寺)

室町時代建立の楼門の屋根の腐朽が進行しているため、昭和61年度に小修理を行ったが、今年度も北面の軒先部の桧皮葺替えを行った(新規)。

3. 防災施設

(1) 建造物 専修寺御影堂ほか (津市専修寺)

真宗高田派本山専修寺は、国宝2件を含む多数の重要文化財を有しながら火災に対する備えが不十分なため、昭和57年度より御影堂及び周辺の防災設備の充実を図ってきている。本年度は、如来堂とその周辺の消火栓・放水銃及び自動火災報知設備の一部を設置した(継続)。

4. 無形文化財の伝承・記録保存

(1) 無形文化財 伊勢型紙 (鈴鹿市)

伊勢型紙技術保持者2名の指導のもと、中堅技術者を対象として伝承者の養成と資料収集に努めるもので、本年度は第6期2年次にあたり、5名の養成委員による実技指導、復刻作品の講評、江戸小紋・美濃紙など先進各地の伝統工芸の視察などを行った(継続)。

5. 収蔵庫建設

(1) 重要有形民俗文化財 「伊勢湾・志摩半島・熊野灘の漁撈用具」(鳥羽市働東海水産科学協会)

昭和60年度に指定された6,879点の漁撈用具を新たに収蔵するため、「海の博物館」の移転地の鳥羽市浦村に延床面積約2,000㎡の収蔵庫の建設を行った(継続)。

6. 特別天然記念物カモシカ保護

近年、人工造林地の幼齢木に対するカモシカ食害が増加し社会問題化しており、環境庁・林野庁・文化庁の三庁合意に基づき保護地域設定が進められ、本県も昭和58年度に鈴鹿山地地域、平成元年度に紀伊山地地域の二地域の設定が行われた。

同地域内における保存のための調査及び食害防除のための防護柵の設置を行った(継続)。

(1) 通常調査 (三重県)

三重県文化財調査員に依頼し、両保護地域におけるカモシカの生息状況、生息環境を定期的に巡視した。

〈調査員〉 () は担当地区、吉田實生(宮川村、9月1日付けで福居里平氏と交代)

清水 実(藤原町)・伊藤 勝義(藤原町)・小森 良一(北勢町)・出口 幸雄(北勢町)
木村 裕之(大安町)・清水 義孝(大安町)・伊藤 武吉(菰野町)・森 豊(菰野町)
加藤 幸生(四日市市)・寺田 卓二(四日市市)・瀬川 学(鈴鹿市)・奥埜 清道(鈴鹿市)
中川 宗夫(宮川村)・福居 里平(宮川村)・小林平八郎(飯高町)・辻本 恵計(飯高町)
川端 徳夫(紀伊長島町)・小島 弘也(紀伊長島町)・山本 和彦(尾鷲市)・清水 善吉(尾鷲市)

(2) カモシカ食害対策〔防護柵の設置〕

宮川村	22ヶ所	13,815m	海山町	7ヶ所	7,008m
飯高町	14ヶ所	7,881m	紀伊長島町	2ヶ所	1,528m
尾鷲市	5ヶ所	3,610m			

7. 調査

(1) 松浦武四郎関係歴史資料(三雲町)

三雲町小野江の生家に残る資料(古文書・道具など)数100点と東京松浦家所有資料の調査と分類に基づき、目録作成を行った(継続)。

8. 現状変更等(21頁の表参照)

VII 県指定文化財の保護

— 県費補助事業 —

() 内は事業主体者

1. 保存修理

(1) 史跡 名張藤堂家邸跡(名張市)

昭和57年度より3か年で老朽化の著しい建物の部分修理を行ったが、本年度は前年度の建物南側の清閑楼に引き続き建物北側の祝の間、十二畳の間及び広縁部分の解体修理を行った(継続)。

2. 防災施設

(1) 建造物 愛宕神社本殿(上野市愛宕神社)

愛宕神社の周辺は民家が密集し、神職が常駐していないため境内に消火栓を新設するとともに、既設の火災報知器に接続して手水舎に報知器の増設を行った(新規)。

3. 民俗文化財の伝承

(1) 無形民俗文化財 植木神社祇園祭(大山田村植木神社保存会)

昭和54年度に県指定された神輿等が多年に亘る使用により破損が著しいため、本年度より保存修理し伝承に資する。本年度は、神輿1基の解体修理を行った(新規)。

4. 現状変更等(21頁の表参照)

平成元年度

○国・県指定文化財現状変更等（※国史跡齋宮跡を除く）

区分	文化財名称	申請者	現状変更内容	申請	許可	完了報告	備考
国史跡	伊勢国分寺跡 1755	鈴鹿市教育委員会	境内付近のトレンチ調査	元. 9. 25 (鈴教社第355号)	元. 12. 19 (委保第4-1109号)		寺域確認
"	上野城跡 733	上野市長	案内説明板設置	2. 1. 8 (上教社第13号)	2. 3. 27 (委保第4-53号)		
考古資料	伊勢神島祭祀遺物 207	三重県教育委員会	複製作成	元. 4. 12 (教文第590号)	元. 5. 23 (委保第13-12号)		
天然記念物	御池沼沢植物群落 174	四日市市教育委員会	保存対策調査	元. 5. 23 (教文第58号)	元. 6. 21 (委保第4-533号)	2. 5. 15 (教文第75号)	
"	東阿倉川イヌナシ自生地 176	"	囲柵の取替	元. 6. 21 (教文第116号)	元. 7. 14 (委保第4-633号)	元. 8. 30 (教文第116号)	
"	九木神社樹叢 177	九木浦共同組合長	枯根木の伐採	元. 7. 4 ()	元. 9. 9 (教文第1157号)	元. 10. 26 (尾教社第578号)	県教委権限委任事項
"	御池沼沢植物群落 178	四日市市教育委員会	管理観察橋改修	元. 10. 30 (教文第437号)	2. 2. 1 (委保第4-31号)	2. 3. 28 (教文第565号)	
県史跡	御ヶ所城附愛州氏居館址及墳墓 57	南勢町長	詩碑建立	元. 6. 16 ()	元. 7. 1 (教委指令文第1287号)	元. 9. 1 ()	
"	松阪城跡 57-13	松阪市長	天守台周辺発掘調査	元. 6. 22 (松都第178号)	元. 7. 1 (教委指令文第1288号)	2. 2. 1 (松都第564号)	時代考証調査 (約2079㎡)
彫刻	伊奈富神社宝篋 200	齋宮歴史博物館	複製作成	元. 8. 15 (教齋第232号)	元. 8. 22 (教文第1408号)		
天然記念物	新ヶ池池地植物群落 203	中野区長	県道改良	元. 10. 12 ()	元. 10. 20 (教委指令文第1949号)	2. 3. *	県文化財保護審議委員の指導
史跡	名張藤堂家邸跡 179	名張市長	碑の復原・新設	元. 11. 7 (名教委社第739号)	元. 11. 13 (教委指令文第1908号)		
"	"	"	"	2. 3. 17 (名教委社第159号)	2. 3. 26 (教委指令文第408号)		工事期間の延長

VIII 大規模開発と文化財保護

民間企業による各種土地開発事業と埋蔵文化財の保護については、関係諸法令要綱等によって取扱い方針が定められている。その具体的な取扱いについては、「文化財保護の指導要項」（『三重県開発事業指導に関する計画設計の技術基準』所収）及び、昭和55年9月19日付け、教文第520号、三重県教育委員会教育長から各市町村教育委員会教育長宛通知によっている。

事業者は、事業の計画段階で市町村教育委員会へ、計画地内における周知の遺跡の有無の照会（遺跡地図、遺跡台帳との照合）と現地での遺跡分布調査の依頼を行う。これを受けて分布調査を実施した市町村教育委員会は、調査結果を事業者に通知する。埋蔵文化財が確認された場合には、前記文化財保護の指導要項に基づく保存方法についての協議を行い、そのことを文化財保護措置書の形で、事業者から市町村教育委員会教育長へ提出する。

文化財調査報告書及び文化財保護措置書については、県教育委員会へその写し1部をもって報告することになっている。

1. 大規模土地取引事前協議

(Noは件名目録によるため、欠番もある)

No.	種別	事業地	事業面積 m ²	備考
1	ゴルフ場	白三町三カ野	1,661,940	分布調査結果未確認、保護措置書
2	ゴルフ場	四日市市川島町	1,649,700	分布調査未実施
3	ゴルフ場	名張市長瀬他	1,499,000	分布調査未実施
4	ゴルフ場	磯部町三ヶ所	約1,300,000	分布調査未実施
5	リゾート	磯部町坂崎	1,127,000	分布調査未実施
7	ゴルフ場	伊賀町愛田	1,015,000	保護措置書(古墳1基保存、3地点記録保存)
8	ゴルフ場	一志町大仰	1,425,712	分布調査未実施
9	ゴルフ場	四日市市西大境町	215,990	協定書
10	ゴルフ場	津市神戸	1,157,200	分布調査未実施
11	ゴルフ場	藤原町上相場	1,964,000	分布調査中
12	ゴルフ場	龜山市山下町他	1,059,000	古墳等有、伐開後分布調査が必要
13	リゾート	磯部町山田	264,500	小海製塩遺跡は保存、変更部分の分布調査未実施
14	レジャーランド	関町加太板屋他	1,830,000	分布調査結果なし
15	ゴルフ場	島ヶ原村字中谷	1,331,850	分布調査未実施
16	ゴルフ場	島ヶ原村字東広	195,600	分布調査未実施
17	ゴルフ場	久居市榊原町	約1,160,000	詳細分布調査結果なし
18	ゴルフ場	嬉野町宮野	1,280,000	分布調査未実施
19	ゴルフ場	北勢町其原	492,000	分布調査未実施、保護措置書
20	ゴルフ場	龜山市両尾町・安坂山町	248,277.3	カモシカ生息
21	ゴルフ場	上野市諏訪	1,386,000	分布調査結果なし
22	ゴルフ場	龜山市両尾町他	1,297,000	分布調査結果なし
23	ゴルフ場	大安町字賀他	149,500	分布調査未実施
24	レジャー施設	二見町三津	333,880,739	中世城館保存、試掘、保護措置書
25	ゴルフ場	北勢町阿下喜	485,238	分布調査結果なし、保護措置書
26	ゴルフ場	長島町福吉	162,126	保護措置書未提出
27	ゴルフ場	阿山町下友田	1,991,400	分布調査結果なし、保護措置書
28	ゴルフ場	伊勢市朝熊町	1,070,669	分布調査結果なし

No.	種 別	事 業 地	事業面積 m ²	備 考
29	ゴルフ場	一志町波瀬	1,463,755	分布調査未実施
30	ゴルフ場	一志町其倉、久居市中村町	1,564,206	分布調査依頼中
31	住宅団地	久居市一色町	178,291.12	分布調査未実施
32	ゴルフ場	嬉野町薬王寺	1,414,182.43	5ヶ所で遺跡確認
33	工場団地	嬉野町島田	67,000	4ヶ所で遺跡確認
34	ゴルフ場	員弁町大泉	1,512,785	分布調査未実施
35	ゴルフ場	久居市榊原町伊賀吸	975,315	分布調査未実施

2. 開発行為に伴う設計協議

(No.は件名目録によるため、欠番もある)

No.	種 別	事 業 地	事業面積 m ²	備 考
1	ゴルフ場	阿山町円徳院	1,132,530	協定書（古墳74基中3基記録保存）
2	工場	松阪市大黒田町	78,338	保護措置書（周知なし）
3	住宅	津市一身田平野	10,383	保護措置書（周知なし）
4	工業団地	楠町小倉	32,107	保護措置書未提出
5	住宅	伊勢市中村町	15,883	保護措置書（周知なし）
6	建物	久居市明神町	74,271	保護措置書（周知なし）
7	工場	藤原町篠立	66,903	保護措置書（周知なし）
9	工場	河芸町東千里	28,597	保護措置書（周知なし）
11	倉庫	関町新所	13,520	保護措置書（周知なし）
12	住宅	鈴鹿市東玉垣町	22,595	保護措置書（周知なし）
13	ゴルフ場	嬉野町森本	2,308,000	保護措置書（周知なし）
15	ゴルフ場	芸濃町林・楠原	921,520	保護措置書（2遺跡現状保存）
16	店舗	上野市小田町	10,348	保護措置書（周知なし）
19	店舗	三雲町久米	12,114	保護措置書（設計変更）
20	店舗	亀山市和田町・河合町	11,064	保護措置書（周知なし）
21	工場	伊賀町柘植町	38,600	保護措置書（周知なし）
23	ゴルフ場	久居市稲葉町・津市片田町他	232,000	保護措置書（周知なし）
24	レジャー施設	久居市榊原町	310,051	保護措置書（周知なし）
25	ゴルフ場	美里村三郷他	1,047,464	保護措置書（設計変更）
26	社宅用地	名張市下比奈知	25,973	保護措置書（周知なし）
27	工場	北勢町下平他	62,141	保護措置書（周知なし）
28	工業団地	久居市森町	273,843	保護措置書（周知なし）
29	ゴルフ場	亀山市山下町他	1,059,000	保護措置書（古墳17基中1基記録保存）
30	倉庫	伊賀町川東	15,480	保護措置書（周知なし）
31	工業団地	上野市子野	55,815	事前に掘削される
32	スポーツ施設	伊賀町御代	104,548	保護措置書（2遺跡）分布調査未実施
33	住宅	阿児町鶴方	15,873	保護措置書（周知の遺跡が1ヶ所所有、保存）
34	住宅	阿児町鶴方	32,548	保護措置書（周知なし）
36	ゴルフ場	久居市榊原町	1,370,224	保護措置書（周知なし）
37	ゴルフ場	藤原町上相場	1,877,580	分布調査未実施
38	工業団地	四日市市山之一色町	406,176	保護措置書（周知なし）
39	ドライブイン	関町萩原・芸濃町楠原	33,976	協議・了承

IX 銃砲刀剣類の保護・管理

1. 登録審査委員（任期平成元年4月1日から平成3年3月31日）

矢ヶ瀬清一（平成2年1月21日逝去）、松本 正利、荒木 知彦、西口 道男

2. 登録審査会の開催

回	月日(曜日)	時 間	会 場
1	4月18日(火)	10:00～14:00	県津庁舎会議室
2	5月16日(火)	"	県熊野庁舎会議室
3	6月20日(火)	"	県四日市庁舎会議室
4	7月18日(火)	10:00～14:00	県伊勢庁舎会議室
5	9月19日(火)	"	県上野庁舎会議室
6	11月14日(火)	"	県松阪庁舎会議室
7	2月20日(火)	"	県津庁舎会議室

3. 登録件数その他

(1) 登録件数

区 分	登録件数	刀剣の登録件数のうち 製作承認された件数
刀 剣 類	340	18
古式 銃砲	火なわ式 銃砲	73
	その他の 古式銃砲	11
計	424	
登録数累計	45,566	

(2) 登録証の再交付

区 分	再交付件数
刀 剣 類	14
古式銃砲	2
計	16

(3) 登録証の返納状況

区 分	返 納 理 由				合 計
	亡失 盗難	輸出	内容変更 に伴う返納	その他	
刀 剣 類	0	2	1	1	4
古式銃砲	0	1	0	0	1
計	0	3	1	1	5

4. 登録を受けた銃砲または刀剣類の譲受け相続等の届出の状況

区 分	銃 砲 等	刀 剣 類
譲 受 け	27	242
相 続	3	19
貸 付 け	—	—
保管の委託	—	—
計	30	261

資料 県新指定等文化財調査報告書

資料 1

○木造十一面観音立像 1 軀（彫刻）（写真は 7 頁参照） 一志郡白山町川口字瀬古 瀬古区公民館
松山鉄夫、河原由雄 委員
昭和63.12.9・昭和64.1.6・平成2.3.8 調査

1. 概要

平安初期の作風を持つ一木造檀像系の木造十一面観音で、同町八対野の千手観音立像（国重文）と並ぶ極めて優れた作品である。保存状態も概ね良好。

2. 形状

左足を支脚、右足を遊脚としてその膝を屈し、踵を高く上げて蓮華座上に立つ腰をやや左に捻るが、正面観は直立像に近い。天冠台上に、十面の頭上面を 2 段に配し（地髪部に 7、髻側に 3）、髻頂に仏面（欠失）をつける。地髪正面に化仏をつけていたが、今亡。毛髪は正面天冠台下をまばら彫とするが、その他はこれをあらかず、高大な単髻を結ぶ。垂髪を肩にたがすが、地髪との連絡部を左右とも欠く（後世の改変か）。別造（金銅製）の宝冠を付ける。白毫相をあらわす（白毫今亡）。条帛をかけ、天衣は左右の肩より垂下し、膝前の上・下辺をめぐって両腕にかかる。裳（二段折返し）を着す。左手は屈臂して宝瓶を握り、右手は垂下して五指を伸ばす。両腕とも臂釧を刻出するが、腕釧は作らない。別造（金銅製）の腕飾りをつける。

3. 法量（センチ）

像高 47.2 頂～顎 13.4 面長 5.0 面幅 5.0 面奥 7.5 臂張 16.5
耳張 6.5 裾張 14.0 腹厚 8.5 足先開(外) 8.9

4. 品質構造等

一木造。材質は未確定（カヤカ）。頭体の主要部分を蓮肉まで一材で作し、これに頭上面、化仏、両手先、天衣遊離部、等を別材で作って矧ぎ寄せる。後頭部宝髻頂部、背面上方にも小矧木あり。内刳は施さない。彩色は瞳に墨、唇に朱、毛髪部に群青（？）を施したと見られるが、現在はいずれも痕跡を留めるのみ。他は素地のままで、全体に古色を呈している。後補の宝瓶に金泥。

なお、胸部、顔面、条帛、裳などの表面に刀痕（のみあと）を残す。

5. 制作年代

平安時代前期（九世紀）。重量感ある体軀の肉付けや、厳しい顔貌の造形、また重厚で粘りのある鬘波式の衣文の表現などに、平安初期彫刻の特徴的な作風を顕著に示している。九世紀前半の作と判断される。

6. 保存状態

イ) 欠失部；頂上仏面、大笑面、化仏、白毫。

ロ) 損傷部；右足先、蓮肉正面中央、背面上部にかかる天衣の上縁、三道前面中央、天冠台右後方、等。

ハ) 後補部；頭上面、右耳の耳朶、後頭部の補材、宝髻の頂部、背面左上方の矧木、両手先、宝瓶、両腕にかかる天衣遊離部、宝冠、胸飾、台座、光背。

ニ) 改変部；◎垂髪と地髪のつながりを削り落とす（か）。

◎蓮肉下部を上面より 1 cm の厚さを残して切り落とし、かつ蓮肉周縁も、たち落としている。

◎背面下方（裳の折返し部と裳裾）削る。

以上を除く頭体の主要部分は、概ね保存良好である。

7. 伝 来

- 白山町川口字瀬古にあった高田寺（今亡）伝来の像と考えられるが、委細は不明である。
- 瀬古区公民館の、薬師如来坐像を祀る壇上の隅（中尊の右）に厨子に入れて保管されていたが、近時、浄土宗西称寺（公民館西隣）に寄託。
- 上記の厨子は江戸期のもので、その斗帳の裏面に寄進者の連名と「文政九年（1826）甲戌」の年記を墨書きする。この銘文中に「高田寺什」とみえる。なお甲戌は丙戌の誤記。

8. 評 価

白山町八対野の千手観音像と同時代のもので、檀像系の作品として同種のものであるが、この十一面観音は、それに勝るとも劣らぬすぐれた仏像である。県指定はもとより、国指定のレベルに達する名品といえる。

9. 備 考

- 蓮肉下部の切断や、像背下方の削り痕は、上記文政年中に厨子や台座、光背を新調した際の加工と考えられる。
- 足首を露出させ、とくに踵を高く浮き上がらせる姿勢は、珍しい。
- 指定：平成元年2月20日 白山町文化財に指定。
- 文献：松山鉄夫「三重・白山町瀬古区の木造十一面観音立像について」（『仏教芸術』184号、平成元年）

資料 2

○ 木造薬師如来坐像 1 軀（彫刻）（写真は7頁参照）

上野市三田 西盛寺

松山 鉄夫 委員

昭和63.9.6・平成元.5.28 調査

1. 概 要

上野市西盛寺の脇堂「医王閣」に安置される薬師如来坐像で、像高60㌢、ヒノキの一木造、藤原時代初期（10世紀）の作である。

2. 形 状

右足を上に結跏趺坐、偏袒右肩。右手屈臂、掌を外に第1、第2指を捻じ、左手は膝上に置いて薬壺を持つ。

3. 法量（センチ）

像 高	60.2	面 幅	11.9	膝 張	49.2	髮際高	50.2	腹 奥	21.5
頂～顎	22.0	耳 張	15.4	膝 高(左)	9.0	肘 張	38.5	坐 奥	21.5
面 長	11.1	面 奥	15.5	(右)	9.6	胸 厚	18.4		

4. 品質構造等

材はヒノキ。頭体一材。これに両脚部（横木一材）を寄せる。内割なし。左手は肘と手首で、また右手は手首で、それぞれ短く（備考1）。螺髪彫出（髮際で26個）。当初は漆箔、今は剥落して古色を呈す（漆箔は痕跡のみ）。

5. 保存状態

後補部分：両手先、薬壺、左前膊、台座。

欠 損 等：鼻先僅かに欠損か。後頭部螺髪損傷。袖口部材亡失。右耳朶表面損傷。両脚部材の右端に割損があり、また、体幹材との矧目が弛む（駄柄朽損）。光背亡失。

6. 制作年代

作風からみて、藤原時代初期（10世紀）と考えられる。

7. 伝 来

本像の来歴は、一切わからない。

8. 備 考

- 1) 右前膊は手首近くまで体幹材と共木のようにであるが、後補の布貼りのため、見定め難い。また、左前膊は、別材で作り、大腿部に柄留めする。なお、像底に底板状の補材があったかもしれない。
- 2) 評価：両手先が後補のものに換っているのが惜しまれるが、本像は平安初期様式の余韻を残す10世紀の優品で、作風は正統面相部の保存も良好、県指定の候補として何ら問題はない。
- 3) 指定：平成元年3月、上野市文化財に指定。

資料 3

○ 霊山山頂遺跡（史跡）（写真は7頁参照） 阿山郡伊賀町大字下柘植字道山3471-1・4番地 山林
八賀 晋・樋田清砂・仲見秀雄 委員
平成元.10.31・平成2.3.10 調査

三重県史跡指定 昭和16.9.26 「伊賀霊山寺奥ノ院金仏」（聖観音立像、土塁・階段）
大字下柘植字道山3471-1番地 1,289㎡（公簿）
伊賀町史跡指定 平成元.4.1 「霊山山頂遺跡」（山頂と南・南西斜面地域）
大字下柘植字道山3471-1・4番地 11,206㎡（公簿）

1. 史跡の性格

「伊賀霊山寺奥ノ院金仏」として昭和16年に県指定された山頂（標高765.8m）の聖観音立像や土塁・階段を始め、南斜面（標高712m以上）には道路跡を挟んで郭群があり、さらに西南方向の尾根上には累々たる石製積組式五輪塔が散乱する中世墓等を含む、中世を中心とした一大複合遺跡である。

2. 調査研究史

- 昭27. 7 山頂にテレビ中継所を建設中、経塚を発見。（和鏡・鉄刀類・土器類出土）
石部正志「三重県霊山経塚」（『先史学研究』1 1955）
- 昭60. 12 町教委、埋蔵文化財としての概要把握を目的とした総合調査を実施。
～ （9,917㎡の範囲の南斜面に郭群・西南斜面に中世墓等を確認）
61. 4 伊賀町教育委員会『霊山山頂遺跡予察調査報告書』（1986）
〔昭60に町が霊山山頂を中心に、『生活環境保全林地区』（15ha）「森林型レクリエーション」及び、観光開発としての施設整備計画」を定めた事を受けて〕
- 昭63. 7 町教委、補助事業霊山地区遺跡発掘調査を実施。（3号地、70㎡）
（12世紀以降、3期に及ぶ整地面を確認）
- 平 1. 8 町教委、補助事業霊山地区遺跡発掘調査を実施。（3号地、140㎡）
（上層面の調査、五輪塔の地輪を礎石や地覆とした建物等を確認）

3. 文献資料

遺跡存続期の文献はなく、別紙（省略）に掲載した文献も資料的価値は必ずしも高くない。

4. 遺跡の範囲・規模

霊山山頂（公簿1,289㎡）と南・西南斜面（公簿9,917㎡）の、合計公簿面積11,206㎡（略測実面積16,700㎡）に及ぶ概略東西最大140m、南北最大170mの範囲。

5. 遺跡の価値

経塚を始めとして、中世の城郭的性格も持つ山岳寺院跡や中世墓が有機的一体をなす大遺跡であり、近年確認された未指定地も含めて遺跡全体を指定保存する価値がある。

6. 現在の管理

伊賀町教育委員会

7. その他

霊山山頂一体は「アセビ・イヌツゲ群生地」として、昭和47年6月1日付けで県天然記念物指定を受けている。

霊山山頂一体には東海自然歩道も縦走している。

霊山は現在も伊賀町民にとって郷土愛のシンボリック的存在であり、毎年元日には数百人の町民が御来光を拝むために早朝登山している。

要件	昭和16県指定	平成元町指定	今回指定候補
指定日	昭和16年9月26日	平成元年4月1日	
名称	「伊賀霊山寺奥ノ院金仏」	「霊山山頂遺跡」	「霊山山頂遺跡」
所在地	阿山郡伊賀町大字下柘植字道山3471-1番地	阿山郡伊賀町大字下柘植字道山3471-1・4番地	阿山郡伊賀町大字下柘植字道山3471-1・4番地
面積(m ²)	1,289 (公簿)	11,206 (公簿)	11,206 (公簿) (略測実面積16,700) (9,917追加提案)
内容	聖観音立像 山頂の郭と石段	聖観音立像 山頂の郭と石段 南斜面郭群 西南斜面中世墓群等	聖観音立像 山頂の郭と石段 南斜面郭群 西南斜面中世墓群等

(民俗芸能大会出演他府県芸能；裏表紙)

伏屋の獅子芝居(岐阜)	三尾の麒麟獅子舞(兵庫)
吉田の振物(京都)	羽根曾踊(福井)
しばんば踊り(富山)	花園の仏の舞(和歌山)
銭太鼓(愛知)	土山の太鼓踊(滋賀)
内日角まだら(石川)	田原の祭文及び祭文音頭 (奈良)
天王寺舞樂(大阪)	

三重県の文化財保護
—平成元年度—

発行 1990. 3
編集 三重県教育委員会
印刷 オリエンタル印刷株式会社

